

## 続アリはどうやって食べ物をえらぶの？

合志市立南ヶ丘小学校 4年 園田 大敬

### 1 研究の目的

昨年、アリは本当にいろんな食品の中からさとうを選ぶのかを実験した。小さなアリは食品を直接フィールドに置くと、さとうに集まったので、さとうが好きだと分かった。

しかし、塩やからしにも行ったので目が見えるのか、見えるとしたら何色に集まりやすいか、また、さとうが入ったヨーグルトにはすぐ近くまでしか行かなかったので、酸っぱいにおいはきらいなのかと考えた。そこで、すっぱい臭いでもさとうを取りに行くか研究を続けてみることにした。

### 2 研究の方法

(実験1) アリは目が見えるかを調べるため、さとうをひとつはラップに包みにおいがもれないようにした。もう一つはお茶パックに入れて臭いがただようようにした。アリがどのように集まるのかを観察する。

(実験2) どの色が好きかを調べるため、白、黒、黄土、緑の4色の円形の画用紙の中央にさとうを置き、朝と夕方の2回観察する。

(実験3) 酸っぱい臭いがしても、えさを取りに行くか調べるため、習字紙にレモンと酢を全体にぬり、中央にさとうとエビを置き、朝と夕方の2回観察する。エビを置くのは、大きなアリは虫の死がいが好きだと思ったからだ。

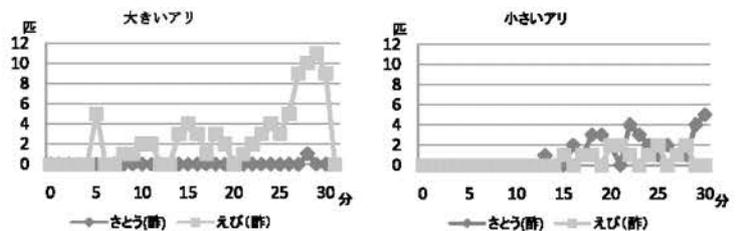
### 3 研究の結果と考察

(実験1) 大きいアリはラップとお茶パックの両方に来た。触覚を持ち上げていた。ラップにかみついていた。小さいアリはお茶パックに来て、パックの入り口を見つけとどどもぐった。大きいアリは目が見えているようだ。小さいアリについては、はっきり分らなかった。

(実験2) 大きなアリは黒色に集まった。小さなアリは黒色には集まらず、白、緑、黄土色に集まった。大きなアリは黒色が好きで、小さなアリも目が見えて、黒色がきらいなようだ。

大きなアリは、さとうを巣に持って行ってはさとうに来るのくり返しだった。小さいアリは、巣には戻らず、次々にさとうに集まり、行列ができた。2種類のアリとも午前中の方が活発に動いた。大きいアリがいるときは、小さなアリは近づいてこないようだった。

(実験3) 大きいアリは、レモンや酢をぬっていても、エビにとどど近づいてきた。小さいアリは、レモンや酢がかわくと少しずつ集まったが、実験2のように集まらなかった。小さいアリは酸っぱいにおいがきらいだと思った。



### 4 研究のまとめと感想

大きなアリは巣の土が毎日もり上がっていったのでクロオオアリ、小さなアリはさとうにいっぱい集まるのでヒメアリと思う。アリは、午前中の方が活発で、大きなアリはさとうよりエビが好きだと分かった。ぼくの家に来るアリは小さいアリだ。小さいアリは、さとうが好きで、黒色がきらいで、レモンや酢がきらいなことが分かった。家に小さいアリが上らないようにするためには、上がってきそうな場所を黒色にしたり、酢やレモンを置くといい事が分かった。